

# 事業概要

第8号

平成17年度

---



ドリアス

富山県中央植物園

# 目次

## 平成17年度 事業概要

目次.....	1
---------	---

## I 庶務

1. 沿革.....	2
2. 整備概要.....	2
3. 利用案内.....	3
4. 組織.....	4
5. 招聘客員研究員.....	5
6. 講師等派遣.....	5
7. 委員等.....	5
8. 研修生等の受入.....	6
9. 視察研修等受入.....	6
10. 行政バス.....	7

## II 植物管理事業

1. 収集植物現況.....	8
2. 新規導入植物.....	9
3. 分譲植物.....	10

## III 教育普及事業

1. 催事記録.....	11
2. 印刷・出版.....	14
3. 新聞・雑誌等への寄稿.....	14
4. 新聞記事.....	15
5. 取材対応.....	15
6. リファレンス(質問対応)状況.....	15
7. 同定依頼.....	15

## IV 資料収集事業

1. 標本資料現況.....	16
2. 文献資料現況.....	17
3. 植物画資料.....	17

## V 調査研究事業

1. 研究体制.....	18
2. 研究課題.....	18
3. 研究報告10号.....	18
4. 研究報告11号.....	18
5. 平成17年度研究発表.....	19
6. 著書・論文・学会発表等.....	19

## VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業.....	21
2. 部会の活動.....	21
3. 会員数.....	22

## VII 参考資料

1. 施設概要.....	23
2. 施設平面図.....	24
3. 整備事業費.....	25
4. 利用統計.....	26
5. 例規.....	28
6. 愛称とシンボルマーク.....	30

## VIII 栽培記録

1. 初めて開花・結実した植物.....	31
2. 植物園への植物導入における森林表土 の利用とその有効性.....	31

# I 庶務

## 1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園(展示温室公開)
平成 8年 5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年 2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年 4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年 9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工
平成15年 3月	ドリアスホール完成

## 2. 整備概要

(1) 所在地 富山県富山市婦中町上轡田42

(2) 敷地面積 24.7 ha

(3) 主要施設

① 管理研修棟	1棟	1,310㎡
② 展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,713㎡
③ 栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟	1,077㎡
④ サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,614㎡
⑤ ドリアスホール	1棟	155㎡

(4) 展示植物 約 4,700種類、 87,000本(株) (※種類数は重複分を除いた数)

・屋外展示園	約1,954種類
・展示温室内	約1,245種類
・栽培温室・圃場	約3,100種類

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債 (ふるさとづくり事業)
平成10年～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール(ドリアスホール)	40	木材産業経営革新公共施設 等整備事業

単位：百万円

3. 利用案内(平成17年4月1日現在)

(1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)

冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで

(2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)、および12月28日～1月4日

(3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人	600円	480円
小人(高校生以上)	無料	—

●入園料等取扱要領(全額免除)平成5年9月制定、平成14年3月28日改正、平成17年4月1日改正

- ① 幼稚園、小中高校等の引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ② 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ③ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ④ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ サクラ観賞日に入園するとき。

(4) 交通機関

● バス利用

・富山地鉄バス

JR富山駅：6番乗場

ファボーレ経由萩の島線

中央植物園口停留所下車、徒歩約15分

● 自動車利用

・富山市中心部より約15分

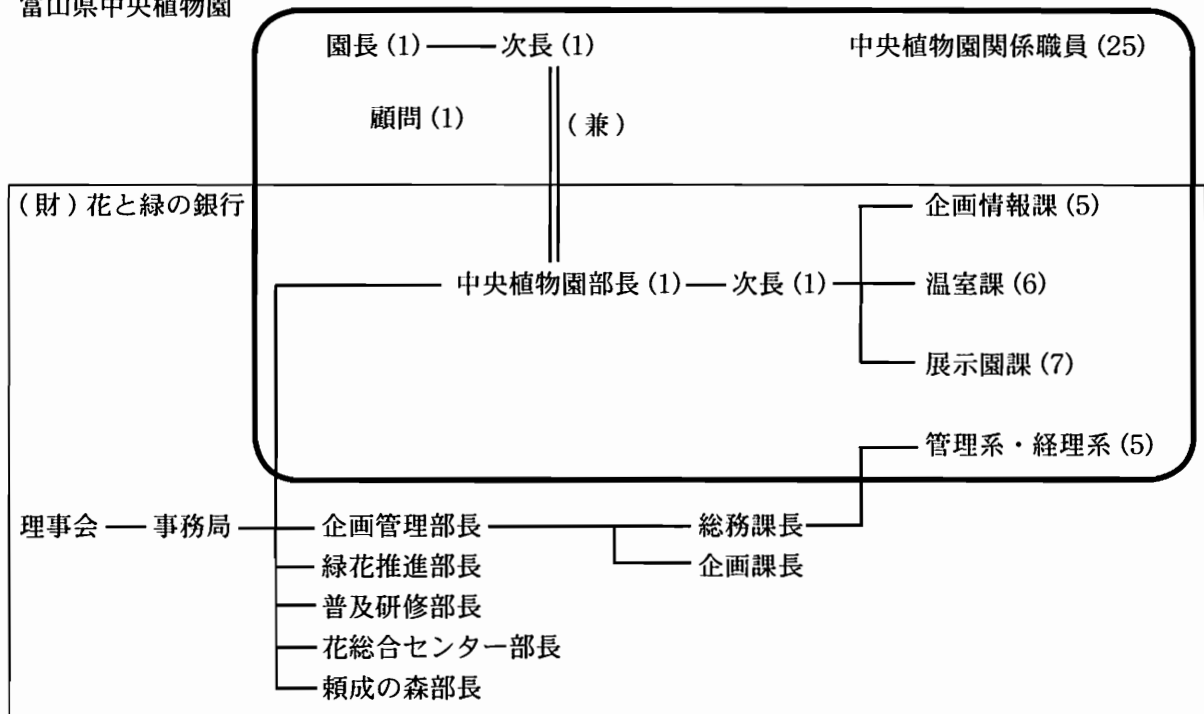
・北陸自動車道富山インターより  
 婦中大橋経由約15分

・JR速星駅より約8分

#### 4. 組織

##### (1) 組織図

富山県中央植物園



##### (2) 職員

富山県中央植物園

園長	内村悦三
顧問	黒川 道
次長	加藤治好

(財)花と緑の銀行 中央植物園部

部長(温室課長兼務)	加藤治好	県中央植物園次長
次長(展示園課長兼務)	柳原正紀	県派遣職員(主幹)
企画情報課 課長	中田政司	県派遣職員(副主幹研究員)
主任研究員	神戸敏成	県派遣職員(主任研究員)
主任	橋屋 誠	
主任	吉田めぐみ	
主任	志内利明	
温室課 副主幹	土肥聖治	県派遣職員 (平成17年4月16日付退職)
主任研究員	大宮 徹	県派遣職員(主任研究員)
主任	兼本 正	
主任	大原隆明	
業務技師	栗林信夫	
嘱託	田村 歩	平成17年6月1日～18年3月31日
展示園課 主任研究員	山下寿之	県派遣職員(主任研究員)
主任	高橋一臣	
専門員	谷口松義	
専門員	大森 博	
業務技師	桐林浩二	
業務技師	浅野 豊	

(財)花と緑の銀行 企画管理部

総務課 主事	恒川利一
(一部) 嘱託	澤井光恵
嘱託	頭川知英子
嘱託	高木真由美
嘱託	武田尚子

## 5. 平成17年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
吉田よし子	食用熱帯植物研究者	食用熱帯植物について	17.11.15-16
佐竹元吉	お茶の水女子大学生活環境研究センター教授	薬用植物資源 と生物多様性条約	17.12.1-2
福嶋 司	東京農工大学農学部教授	植生学・植生管理学	19.1.17-18

## 6. 平成17年度講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
17.7.4	中田政司	総合的な学習の時間「校庭の樹木」	富山市立速星小学校
7.13	中田政司	総合的な学習の時間「校庭の樹木」	富山市立速星小学校
	・山下寿之・橋屋 誠		
8.3	中田政司	小学校教育課程夏季研修会(算数科部会)	富山県小学校教育研究会
8.10	内村悦三	自然の中で子どもを育てる	富山市幼稚園教育研究会
8.18	大宮 徹	自然観察「草花ウォッチングの楽しみ方」	フューチャー・ドリーム ☆子供サポート研究所☆
8.20	山下寿之	葉で樹木鑑定	(株)光地園
9.29-30	橋屋 誠	秋の恵みの集い	有峰森林文化村
10.12	橋屋 誠	キノコ観察会	氷見市海浜植物園
10.16	山下寿之	御前山植物観察会	中央植物園友の会
10.16	橋屋 誠	キノコ観察と鑑賞会	県民公園頼成の森
10.22-23	橋屋 誠	きのこ観察会	朝日町立福井総合植物園
11.5	高橋一臣	ササ類の分類	福井市自然史博物館
11.7	内村悦三	秘められたタケの姿	北陸電力桜橋会
11.9	内村悦三	旅の中で花と緑を考える	花と緑の銀行
12.8	大原隆明	富山大学非常勤講師	富山大学長
18.1.13	神戸敏成	富山県中央植物園と昆明植物研究所 との雲南省の野生植物に関する共同研究	筑波大学生命環境科学研究科

## 7. 平成17年度委員等

期間	氏名	内容	依頼者
平成17年度	黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
平成17年度	黒川 道	(財)服部植物研究所評議員	(財)服部植物研究所
平成17年度	内村悦三	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成17年度	内村悦三	(社)日本植物園協会研究発表委員	(社)日本植物園協会
平成17年度	内村悦三	地球環境100人委員	地球環境関西フォーラム
平成17年度	内村悦三	途上地域混牧林経営推進確立調査事業委員	(社)海外林業コンサルタンツ協会
平成17年度	内村悦三	地域住民森林管理実証調査事業委員	(社)海外林業コンサルタンツ協会
平成17年度	内村悦三	竹資源活用フォーラム会長	竹資源活用フォーラム
平成17年度	内村悦三	竹文化振興協会常任理事	竹文化振興協会
平成17年度	内村悦三	京都竹文化振興財団理事	京都竹文化振興財団
平成17年度	内村悦三	日本竹協会副会長	日本竹協会
平成17年度	内村悦三	日本森林経営研究所理事	森林経営研究所
平成17年度	内村悦三	日本林業同友会技術参与	日本林業同友会
平成17年度	内村悦三	富山市バイオセミナー等実行委員	富山バイオセミナー等実行委員会
平成17年度	内村悦三	花と緑の銀行理事	(財)花と緑の銀行
平成17年度	内村悦三	Bamboo Journal 編集委員	竹文化振興協会
平成17年度	内村悦三	Journal of Bamboo and Rattan 編集委員	International Bamboo and Rattan(北京)

平成17年度	内村悦三	富山市緑化審議会会長	富山市
平成17年度	中田政司	植物地理・分類学会評議員・編集委員	植物地理・分類学会
平成17年度	中田政司	ナショナルバイオリソースプロジェクト 「広義キク属」運営委員会委員	広島大学
平成17年度	神戸敏成	絶滅危惧植物対策委員会	(社)日本植物園協会
平成17年1月	橋屋 誠	環境省植物レッドリスト見直し調査員	環境省自然環境局
平成17年度	兼本 正	植物地理・分類学会監査委員	植物地理・分類学会
平成17年度	志内利明	植物映像撮影委員	植物映像研究会

## 8. 平成17年度研修生等の受入

### (1) 平成17年度博物館実習生

氏名	所属	期間
淵本麻里子	富山大学生物学科	2005.8.3～14
北川智草	富山大学生物学科	2005.8.3～14
岩坪宏美	富山大学生物学科	2005.8.3～14
石黒康太郎	富山大学生物学科	2005.8.15～28
嶋田敬介	富山大学生物学科	2005.8.15～28
林 美香	富山大学生物学科	2005.9.4～18
坂田 綾	富山大学地球科学学科	2005.9.4～18

### (2) 平成17年度 13年次教員研修会受講者(平成17.8.23～25)

氏名	所属
岡本よもぎ	富山市立速星小学校
奥 絹恵	富山県立しらとり養護学校
石瀬智樹	上市町立上市中学校

### (3) 平成17年度「社会に学ぶ14才の挑戦」受入

期間	氏名	学校名
17.7.4～8	山崎智史	富山市立西部中学校
17.10.3～7	泉 翔平	富山市立速星中学校
17.10.3～7	伊藤宏輔	富山市立速星中学校
17.10.3～7	小長井慎也	富山市立城山中学校
17.10.3～7	藤田洸希	富山市立城山中学校

### (4) 高校生の就業体験の受け入れ(8月23日～25日)

富山県立小杉高校1学年 安住新吾

### (5) 富山市適応障害児指導

植物の栽培指導など、植物園内にて年間40回実施。

### (6) 富山県立大学外研究の受け入れ

中沖恵美 平成17年5月18日～平成18年2月28日

## 9. 平成17年度視察等受入

年月日	視察者	人数
17.4.8	社会福祉協議会	3
4.20	宮崎県林業技術センター	1
4.26	富山県写真家協会	4

5.10	八尾警察署	4
5.17	県議会議員（社民党）、日本宝くじ協会、富山県財政課	8
5.27	鶴坂小学校	5
5.30	富山国際職藝学院	50
6.4	富山県展審査員	20
6.6	富山県立大学	2
6.13	富山県消防学校	2
6.18	新潟大学農学部、富山県教育委員会	6
7.5	委員監査	3
7.15	花と緑の銀行 新任頭取グリーンキーパー	64
8.3	小学校教育課程夏期研修会(算数科部会)	80
8.10	富山市幼稚園教育研究会	32
8.24	富山県スポーツ課、富山県警察本部	4
9.9	富山県警察本部、八尾警察署	5
9.11	茨城県自然博物館	2
9.21	高円宮妃殿下御視察	4
9.23	秋田県立大学	4
10.11	環日本海経済交流センター	13
11.8	浜松科学館	10
11.16	新潟大学	5
11.22	富山国際職藝学院	15
18.2.15	富山県自然保護課	5
2.20	富山市農業センター	1
2.21	蘭ミュージアム・高森	12
2.25	B G C I	2
3.3	農林水産部長	3
3.4	福井県総合グリーンセンター	4
3.7	小矢部FM	4
3.13	富山県林業カレッジ	7
3.29	林業試験場	4

## 10. 平成17年度行政バス

### (1) 県政バス

年月日	内容	人数
16.6.20	森林政策課・とやまの植物園めぐり	41
6.22	森林政策課・花の名所めぐり	68
6.27	森林政策課・花の名所めぐり	32
6.29	森林政策課・木とのふれあい	38
8.28	県政モニター	27
10.14	森林政策課・花の名所めぐり	76
10.19	森林政策課・木とのふれあい	30
11.7	森林政策課・とやまの植物園めぐり	39
計8回バス10台		計351名

### (2) 富山市民バス

年月日	内容	人数
6.28	新庄校下	50
9.6	水橋中部	28
9.27	八幡校下	46
10.14	総曲輪校下	25
計4回バス4台		計149名



## Ⅱ 植物管理事業

### 1. 収集植物現況 (平成17年10月1日現在)

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
<b>展示温室</b>		1,245	6,100
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、キョチク	450	1,500
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,200
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	183	1,300
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	289	900
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	200
<b>屋外展示園</b>		1,954	55,410
<u>世界の植物ゾーン</u>		1,232	30,760
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	137	4,200
ボタン・シャクヤク園	中国ボタン、西洋シャクヤク	162	1,400
香りの植物	キンモクセイ、ラベンダー、バラ	78	790
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ	55	1,400
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	33	870
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	48	2,700
サクラ・ウメ園	サクラ類、ウメ、モモ、カリン	101	1,500
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	58	4,600
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	195	300
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	49	7,400
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	124	1,000
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	81	2,400
温室周辺	ワシントンヤシモドキ、ヤタイヤシ	81	1,800
話題の植物	ニガウリ、アーティチョーク	30	400
<u>日本の植物ゾーン</u>		999	24,650
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スタジイ、タブノキ	176	900
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	204	3,200
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	207	3,300
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クロバナヒキオコシ	142	2,200
低地草原	オミナエシ、キキョウ	45	3,000
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	62	2,900
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	53	3,400
ロッケリー	フジアザミ、エッチュウミセバヤ	24	550
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	22	1,000
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	64	4,200
<b>管理区域</b>		3,100	32,400
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物、琉球列島の植物、系統保存	3,000	28,000
駐車場、入口広場他	チヨウキンレン、ベニバナトチノキ	100	4,400
園全体(種類数は各エリア間での重複を除いた数)		4,700	87,000

## 2. 平成17年度新規導入植物

### (1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
17.4.19	関 太郎	Aloe kedongensisなど 2品種 数株
5.18	堀田 満	アキノタムラソウなど 15種 45株
5.29	海埜三喜雄	キバナノツキヌキホトトギス 1種 10株
11.7	日詰雅博	Keteleeria erelyniana 1種1株
18.2.17	氷見市海浜植物園	オオハマギキョウ 1種 種子多数、ナルトオウギなど 3種11株

### (2) 17年度植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
18.2.20	安城産業文化公園デンパーク	Commiphora namaensisなど 4種 5株
2.23	高知県立牧野植物園	ヒオウギなど 5種(種子)
3.13	京都府立植物園	Adansonia grandidieriなど 2種 2株
3.17	京都薬用植物園	Strophanthus hispidus 1種1株
4.7	塩野義製薬(株)油日ラボラトリーズ	Combretum erythrophyllumなど 12種 15株
6.13	咲くやこの花館	Iris magnifica 1種 1株

### (3) 種子交換による導入

年月日	植物園(国名)	導入植物
17.1.31	ブザンソン大学植物園(フランス)	Silene viridiflora など 3種
3.17	ターリン植物園(エストニア)	Cornus mas など 3種
3.29	コメンスキー大学植物園(スロバキア)	Iris arenaria など 2種
4.5	ボゴール植物園(インドネシア)	Artabotrys odoratissimus など 14種
6.13	リヨン植物園(フランス)	Bomarea salsilla など 7種
12.23	ラトビア大学植物園(ラトビア)	Ilex laevigata など 4種

### (4) 自生地採集による導入

年月日	採集地	導入植物
17.4.19	富山市婦中町上瀬	カタクリ、オウレンなど(苗) 計12種
4.19	富山市八尾町三田	ヒメザゼンソウ、サワオグルマなど(苗) 計3種
11.2	入善町舟見	ネコノメソウ、アズマシロガネソウなど(苗) 計20種
11.18	南砺市千束ふれあいの森線	ミネカエデ、ハナヒリノキなど(苗) 計8種
11.18	南砺市成出高成線	コアジサイ、ミズメなど(苗) 計10種、表土2リットル

## 3. 平成17年度分譲植物(植物体の部分を含む)

### (1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
17.4.12	富田幹夫	エッチュウミセバヤ	3株	研究用
7.30	玉井紀子(滋賀県立大学)	ヨシ	30本	研究用
7.21	平井廣行	ムクノキ	若干	寄贈
8.2	加藤康夫(富山県立大学)	クスノキ、カツラ、ゲッカビジン	若干	研究用
12.20	藤野廣春 (富山大学薬学部附属薬用植物園)	パパイア(種子)	30粒	研究用

(2) 17年度植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
17.3.27	金沢大学薬学部附属薬用植物園	ハイビスカス・アセトセラ(苗)
3.27	武田薬品株式会社京都薬用植物園	パンノキ(苗)
3.27	広島大学医学部附属薬用植物園	ハイビスカス・アセトセラ、ヒメアオキ(苗)
4.10	福井総合植物園	パンノキ(種子)

(3) 種子交換による分譲(平成16年度カタログ)

年月日	配付先	配付種子
17.8.5	ベルベデーレ高山植物園(オーストリア)	オキナグサ 1種
8.5	ゲーテ大学植物園(ドイツ)	ヨツバヒヨドリなど 3種
8.5	リヨン植物園(フランス)	シライトソウ 1種
8.5	ポゴール植物園(インドネシア)	シナサワグルミなど 2種
8.5	ラトビア国立樹木園(ラトビア)	トウカエデなど 7種
8.5	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園(ハンガリー)	ヤマハンノキなど 7種
8.9	コメンスキー大学植物園(スロバキア)	ジャケツイバラなど 2種
9.12	ラトビア大学植物園(ラトビア)	ニオイロウバイなど 3種

### Ⅲ 教育普及事業

#### 1. 平成17年度催事記録

##### (1) 特別開園

催事名称	開催日	開催時間	開催場所	入園者数
ソメイヨシノと夜桜観賞*	4月13(水)、14(木)	9:00～21:00	屋外展示園	21,636
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	7月25日(月)～26日(火)	19:00～21:30	サンライトホール	424
夜間開園「夜の温室植物」	8/13(土)～14(日)	19:00～21:30	展示温室	420

\*は無料開園

##### (2) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00～17:00 (11月～1月は16:30まで)

催事名称	開催日	内容
企画展 「桜の新種ホシザクラ」	4/1(金)～4/27(水)	当園の職員が発見したサクラの新種ホシザクラに関する展示。
特別展 「野生ラン展」	5/3(火)～5/5(木)	富山県蘭協会との共催でランの野生種と園芸品種を展示。
「さつき展」	6/3(金)～6/15(水)	宮崎雄峰氏のコレクションと地元の愛好会によるサツキを展示。
「私の植物写真展」	6/24(金)～7/20(水)	植物園の講習会で撮影した植物写真と一般から募集した植物写真を展示。
特別展 「竹」～種類・文化・利用	7/22(金)～9/28(水)	「竹」の種類や文化的な利用方法などをパネルや写真で紹介。
「毒きのこ写真展」	9/23(金)～10/19(水)	毒性のあるきのこの仲間を写真で紹介。
特別展 「園芸菊と野生菊」	10/21(金)～11/16(水)	園芸菊と野生菊の種類を実物と展示パネルなどで紹介。
企画展 「干支にちなんだ植物展」	12/9(金)～2/1(水)	平成18年の干支に係る植物を実物とパネルで紹介。
企画展 「平成17年度研究発表展」	2/3(金)～3/1(水)	17年度の植物園での研究活動と、中国雲南省昆明植物研究所との共同研究について紹介。
「蘭まつり大会」	3/3(金)～3/5(日)	富山県蘭協会と共催で開催する華やかなランの展示で、蘭も販売。
「私の植物画展」	3/7(火)～3/29(水)	一般から募集した植物画 (Botanical Art) の作品を展示。

##### (3) 月例行事

###### ● 植物園オリエンテーリング(7回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策(開催時間：10:30～12:30)

開催日：毎月第3日曜日(4月～10月)

参加者数 約157名

(これ以外に11団体がオリエンテーリングを実施し、747名が参加した)

###### ● 日曜植物案内(12回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員とボランティアが解説(開催時間：11:00～12:00)

開催日：4/3(日)、5/1(日)、6/5(日)、7/3(日)、8/7(日)、9/4(日)、10/2(日)、11/6(日)、  
12/4(日)、1/8(日)、2/5(日)、3/19(日)

参加者数 約180名

## (4) 講座・講習・講演会

催事名称	講師等	開催日	開催場所	参加者数
講演会 「日本の桜」	職員 大原隆明	4/3(日)	ドリアス ホール	97
みどりの日植物園ガイド	職員	4/29(日)	屋外展示園	63
観察会 「ランの花のつくり」	職員 神戸敏成	5/3(火)	実習室	15
県民カレッジ連携講座 「第24回植物画講習会」	豊田路子 岡田宗男	5/21(土) 、22(日)	研修室	47
植物写真教室 「やさしい花の撮り方」	富山県写真家協会 前佛 勇	5/29(日)	研修室 ・園内	66
講演会 「サツキの魅力と育て方」	宮崎雄峰 (前全日本阜月会副会長・日本えびね保存協会理事長)	6/5(日)	ドリアス ホール	85
講演会 「サツキ盆栽の芸術性」	宮崎雄峰 (前全日本阜月会副会長・日本えびね保存協会理事長)	6/11(土)	ドリアス ホール	70
親子デジカメ教室 「花を写そう」	富山県ITセンター	7/30(土)	植物園内 ・富山県ITセンター	41
夏休み植物教室(1) 「植物採集と標本の作り方」	職員	7/31(日)	実習室 ・頼成の森	7
竹とんぼ教室	職員	8/7(日)	ドリアス ホール	8
夏休み植物教室(2) 「植物の名前調べ」	職員	8/28(日)	実習室	5
第13回 TOYAMA植物フォーラム 「竹」	柏木治次(富士竹類植物園事業本部長) 山田卓三(名古屋芸術大学名誉教授) 藤井 透(同志社大学教授・竹の高度利用研究センター長)	9/11(日)	研修室	75
講演会 「きのこ中毒を防ぐために」	職員	9/25(日)	ドリアス ホール	54
県民カレッジ連携講座 第25回植物画講習会	豊田路子 岡田宗男	10/1(土) 、2(日)	研修室	50
どんぐりで遊ぼう	職員	10/9(日)	園内	14
どんぐりで遊ぼう	職員	10/16(日)	園内	17
デジカメ講座 「花を撮ろう」	富山県ITセンター	10/22(土)	植物園内 ・富山県ITセンター	28
講演会 「野生菊の種類と栽培」	職員	10/30(日)	研修室	22
県民カレッジ連携講座 「植物染め講習会」	職員	11/20(日)	実習室	16
電子顕微鏡で植物を観察しよう	職員	1/15(日)	実習室ほか	7
デジカメ講座 「花を撮ろう」	富山県ITセンター	2/4(土)	植物園内 ・富山県ITセンター	32
平成17年度研究発表会	職員	2/5(日)	研修室	26

## (5) 第2回ドリアスコンサート〈パンプーシンフォニアの世界〉

9月10日(日)

演奏：柴田旺山ら

参加者：243名

## (6) ドリアス講座

講義題目	回数
中国雲南省の珍しい植物	0
ランの花の秘密	3
富山の植物 一海岸から立山まで	7
温室で見られる有用植物	5
環境保全と植物園の役割	2
食虫植物の不思議	3
その他	3
計	23

## (7) 平成17年度理数大好きモデル地域事業

年月日	団体名	内容	人数
17.9.14	砺波市立庄川小学校5年生	め花とお花の解説	63
10.25	高岡市立能町小学校3年生	園内オリエンテーリング、秋の植物の話 木の実のクラフト、館内見学	109

## (8) 平成17年度地域子ども教室推進事業実施報告書

年月日	イベント名	参加人数(子ども)
17.10.10	食虫植物を育ててみよう	27(18)
10.22	カボチャのチョウチンづくり	22(16)
10.23	植物バイオの実験	2(1)
10.29	どんぐりで遊ぼう	25(16)
10.30	どんぐりで遊ぼう	30(16)
11.3	ドングリを育てよう	11(7)
11.12	落ち葉で遊ぼう	11(7)
11.13	植物バイオの実験	5(3)
11.19	落ち葉で遊ぼう	31(22)
11.20	落ち葉で遊ぼう	8(5)
11.23	草木染め	14(8)
11.26	草木染め	10(7)
11.27	草木染め	12(8)
12.17	クリスマス飾りを作ろう	20(11)
12.18	クリスマス飾りを作ろう	17(11)
12.23	クリスマス飾りを作ろう	20(12)
12.25	植物バイオの実験	6(3)
18.1.9	顕微鏡で植物を観察しよう	12(7)
1.21	電子顕微鏡で植物を観察しよう	6(3)
1.22	電子顕微鏡で植物を観察しよう	9(5)
1.28	雪の植物園を探検しよう	2(1)
1.29	雪の植物園を探検しよう	6(3)
2.11	デジカメでランを撮ろう	6(4)
2.12	デジカメでランを撮ろう	2(1)
2.26	冬の草花あそび	9(6)
3.11	冬の草花あそび	14(9)
3.12	冬の草花あそび	11(6)
3.18	熱帯の果物を育てよう	19(10)
3.19	熱帯の果物を育てよう	21(14)
3.21	熱帯の果物を育てよう	10(7)
3.25	電子顕微鏡で植物を観察しよう	9(5)
3.26	電子顕微鏡で植物を観察しよう	12(8)

## 2. 平成17年度印刷・出版

### (1) 「植物園だより」の発行

● 2005年4・5・6月号(35号)

表紙－クレマチス(碓井俊昭氏撮影)／特集－クレマチス／4～6月のサンライトホール企画展 桜の新種ホシザクラ、野生ラン展、さつき展／話題の植物－カクチョウラン、サトザクラ／活動報告－平成16年度研究発表展、富山県蘭まつり大会、私の植物画展／研究紹介－アズマヤマアザミに雄株はあるか?(技師 志内利明)／これからが見ごろの植物－ハマナス、ヤマボウシ、アヤメ／イベント案内

● NO.36 2005年7月

表紙－ヒマワリ(松永正昭氏撮影)／特別展 竹 ～種類・文化・利用～／研究紹介－外来種タイワンハンノキによる沖縄島の二次遷移の攪乱(主任 兼本 正)／植物園トピックス－兼本主任が坂寄奨励賞を受賞／これからが見ごろの植物－パイナップルリリー／催し物のご案内

● NO.37 2005年10月

表紙－クニフォフィア(多宮恵理子氏撮影)／園内でみられる木の実のいろいろ／研究紹介－絶滅危惧種オオユリワサビの出現する群落(主任研究員 山下寿之)／植物園トピックス－バンブーシンフォニアの世界、日本植物学会賞(特別賞)を受賞／これからが見ごろの植物－モラードバナナ／催し物のご案内

● NO.38 2006年1月

表紙－ウメ(浅井良夫氏撮影)／第34回富山県蘭まつり大会／研究紹介－野生ギクの保全に関わる外来種問題(副主幹研究員 中田政司)／植物園トピックス－フローラルステージが完成／これからが見ごろの植物－ソシンロウバイ／催し物のご案内／私の植物画展作品募集のお知らせ

### (2) 「事業概要」第7号(平成16年度)(A4判・27頁、平成17年10月31日)

### (3) 「富山県中央植物園散策ガイド ドリアスマップ」の発行(A3判6ツ折りリーフレット)

## 3. 平成17年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
17.4	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物(2)「根茎性ペゴニア」	神戸敏成
17.5	Bamboo Voice	タケが地上に現れた時期	内村悦三
17.5	Bamboo Voice	タケと竹に華を呼び戻す	内村悦三
17.6	現代林業6月号	タケと竹の華をどうして咲かすのか	内村悦三
17.6	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物(3)「イワタバコ科植物2種」	神戸敏成
17.8	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物(4) 「サクラソウ科とトチナイソウ科」	神戸敏成
17.9	自然人	富山県中央植物園きこの部会	橋屋 誠
17.10	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物(5) 「アオギリ科とヒルガオ科」	神戸敏成
17.12	農耕と園芸	中国雲南省の自生地に見る植物(6)「クリュソグラペス亜系」	神戸敏成
18.2	みどり No.636	里山をどう保全するのか	内村悦三
18.3	竹の高度利用 研究センター	植物としてのタケの生態を知る －2005年度活動報告書－	内村悦三
18.3	自然人	冬の海岸にもきのこが!	橋屋 誠

#### 4. 平成17年度新聞記事

年 月	内容	件数
平成17.4	新種「ホシザクラ」企画展、ナッツ植樹10年目で花咲く、夜桜観賞など	28
5	野生ラン展、イチハツの花咲く、植物写真教室など	11
6	さつき展、新種ラン開花、兼本主任「坂寄奨励賞」受賞など	19
7	キンコウボク見ごろ、月下美人夜間開園、特別展「竹一種類・文化・利用」など	6
8	親子デジカメ講座、「夜の温室植物」夜間開園、オミナエシ見ごろなど	12
9	パパイヤ花と実つける、パンプーシンフォニア、高円宮妃久子さま訪問など	28
10	指定管理者募集、フローラルステージ完成、スイフヨウ見ごろなど	11
11	ナガエノケシボウズダケ県内初確認、パパイヤ収穫など	8
12	干支にちなんだ植物展、グッドラックプラント（幸福の植物）開花など	16
平成18.1	オオトリゲモ氷見で発見、アカマツリ見ごろ、ムクゲパイプカズラ咲くなど	20
2	カカオ実つける、シナマンサク見ごろ、プリンセス・キコお目見えなど	24
3	蘭まつり大会、フクジュソウ満開、私の植物画展、サンシュユ見ごろなど	25

#### 5. 平成17年度取材対応

- (1) 新聞 49件
- (2) テレビ 53件
- (3) ラジオ 13件
- (4) 雑誌等 10件

#### 6. 平成17年度リファレンス（質問対応）状況

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
総 数	140	243	334	493	624	715	780	815	769	700
質問方法別										
来園	65	84	118	179	258	268	301	376	364	311
電話	73	153	206	301	341	410	432	381	324	330
文書	2	6	9	13	25	37	47	58	81	59
質問内容別										
同定 (キノコ)*	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181 (110)	275 (184)	330 (196)	320 (190)	379 (266)	400 (274)	344 (268)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186	188	188
その他	42	91	102	153	171	177	243	250	181	168
質問者業種別										
一般	127	202	266	420	528	606	676	693	680	639
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77	48	42
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45	41	19

\*は同定依頼に来たものの内、キノコ関係の内訳。

#### 7. 公的団体等からの同定依頼

年月日	団体名	内容
17.4.15	宮崎県林業技術センター	桜の品種管理技術調査について
5.12	魚津漁協協同組合	商品中に混入した異物（植物）の同定について
18.3.13	富山県林業技術センター 林業試験場	林業試験場構内及び樹木園内のサクラの同定について



## IV 資料収集事業

### 1. 標本資料現況 (点数)

	平成3～16年度	平成17年度	点数	合計点数
購入標本	3,000		0	3,000
収集標本	28,830	神戸採集中国雲南省産標本 職員採集県内産標本 植物園友の会植物誌部会調査会収集標本 その他	145 700 800 700	30,475
寄贈標本	16,999	木内静子(キイトスゲほか) 中村 安(シンミズヒキほか) 酒井初江(ミズトラノオほか) 荒川知代(ガガブタほか) 三箇紀昭(クサボケほか) 松本雅人(アフリカヒメアヤメほか) 広田祐司(ヒメスミレほか) 中川定一(ヒロハドクゼリほか) 正道美子(ムカゴニンジンほか) 下野末佐美(ハマウツボほか) 久保広子(スナシバほか) 石澤岩央(ルリニワゼキショウほか) 江守千枝子(アリアケスミレほか) 高橋政則(ミズタマソウほか) 井上さち子(ヒメミクリほか) 掛橋幹男・富子(オオツクバネガシほか) 村家直樹(オオイタヤメイゲツほか) 早川 崇(オテダマゼキショウほか) 松本敦子(ササガヤほか) 油谷優花(シロツメクサほか) 和田直也(ショウジョウスゲほか) 津田登(ヒオウギほか) 山崎博子・伊澤栄子(オオカンザクラほか) 作井 弘(ヤマザクラとカスミザクラの交雑品ほか) 関原康子(ザゼンソウほか) 粟島紀子(アカカバほか) 武田宏(カスミオクチョウジザクラほか) 若杉孝生(サトザクラ‘ウコン’ほか) 長井真隆(カスミザクラほか) 高木末吉(オランダフウロほか) 林 将之(ミヤマザクラ) 斎藤 進(キンキマメザクラ) 高橋幸子(ノブドウ)	1,604 1,176 606 499 326 325 281 263 223 149 143 122 101 93 75 63 34 19 17 12 11 9 9 8 8 6 6 6 5 3 2 1 1	23,205
合計	48,829		8,551	56,680

## 2. 文献資料現況 (冊数)

### (1) 単行本

		平成3～16年度	17年度	合計 (冊数)
購入	洋書	932	8	940
	中国書	360	8	368
	和書	872	56	928
交換寄贈	洋書	1,263	1	1,264
	中国書	297	0	297
	和書	3,893	32	3,925
合計		7,617	104	7,721

### (2) 雑誌

		平成3～16年度	17年度	合計 (冊数)
購入	洋書	3,564	221	3,785
	中国書	771	56	827
	和書	2,866	194	3,060
交換寄贈	洋書	1,459	332	1,791
	中国書	143	12	155
	和書	3,084	625	3,709
合計		11,887	1,440	13,327

## 3. 植物画資料

平成7年6月 1743点(理科図集、日本椿集原画など) 二口善雄寄贈

## V 調査研究事業

### 1. 研究体制(平成17年4月1日現在)

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、ササ属
大原 隆明	主任	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	主任	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

### 2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

### 3. 研究報告10号(平成17年12月25日発行)

- ・ 中田政司・魯元学・管開雲・李景秀: 中国雲南省西双版纳における *Begonia palmata* var. *bowringiana* (紅孩児、シュウカイドウ科) 自生地記録、および採集された6個体の染色体数(1-8)
- ・ Tadashi Kanemoto & Masato Kanemoto: Chromosome number of *Alnus formosana* (Burkill) Makino (Betulaceae) of Okinawa Island introduced from Taiwan (台湾から沖縄島に導入された台湾ハンノキの染色体数) (9-13).
- ・ 山下寿之: 富山県中央植物園内に植栽されたウメの生物季節学的研究(15-22).
- ・ Xiaodong Dong, Kazumitsu Miyoshi & Toshinari Godo : Longevity of seeds of eight orchids species native to Japan evaluated by asymbiotic germination in vitro and stainability of 2,3,5-triphenyltetrazolium chloror chloride (TTC) (長期保存した日本産ラン科植物8種の種子発芽) (23-28).
- ・ 大宮徹・魯元学・王仲朗・管開雲: 中国雲南省での植物調査記録—2003年、2004年調査行程(29-37).
- ・ 大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会: 富山県フロラ資料(9)(39-64).
- ・ 橋屋誠: 富山県高等菌類資料(3)(65-68).
- ・ Toshiaki Shiuchi: Chromosome number of *Adenophora hatsushimae* (Campanulaceae) (ツクシイワシャジンの染色体数) (69-70).

### 4. 研究報告11号(平成18年3月28日発行)

- ・ 志内利明: アズマヤマアザミの雌性両全異株(1-6).
- ・ Tadashi Kanemoto & Masato Kanemoto: Community structure of *Alnus formosana* forests in Okinawa Island.(沖縄島における台湾ハンノキ林の構造)(7-14).
- ・ Toshiaki Shiuchi & Taku Fujita: Chromosome number of *Styrax japonicus* Siebold et Zucc. var. *tomentosus* Hatusima (Styracaceae) (オオバケエゴノキ(エゴノキ科)の染色体数)(15-16).

- ・中田政司・魯元学・王仲朗・管開雲: 昆明植物園に生じた *Liparis cathcartii* (二褶羊耳蒜、ラン科) 個体群の観察 (17-24).
- ・神戸敏成・沈雲光・魯元学・李愛榮・馬宏・管開雲: 中国雲南省における2005年. 植物調査記録ーアヤメ属 (*Iris*) 及びシュウカイドウ属 (*Begonia*) を主要対象植物として (25-43).
- ・大原隆明・中央植物園友の会植物誌部会・中田政司: 富山県フロラ資料 (10) (45-64).
- ・橋屋 誠: 富山県高等菌類資料(4) (65-72).

#### 5. 平成17年度研究発表「植物園を支える研究活動(8)」(発表順) 平成18年2月5日

- ・兼本 正: 富山県におけるパパイアの露地栽培
- ・中田政司: 県産野生植物の保全に関する2つの話題  
—オオトリゲモの新産地と外来キクタニギクの問題—
- ・大原隆明: 富山県で新たに生育が確認された植物(9)
- ・橋屋 誠: 富山県で記録されたきのこ(10)
- ・吉田めぐみ: 室堂平におけるライチョウの利用する植生
- ・山下寿之: 富山県内のヒメザゼンソウが出現する群落
- ・志内利明: 富山とトカラ列島のヤシャブシ類の比較
- ・大宮 徹: 中国雲南省産のナツフジ属植物の果実の表皮について
- ・高橋一臣: ササ属植物における桿重と葉重の関係
- ・神戸敏成: 雲南省に野生植物を訪ねて —2005年共同研究報告—

#### 6. 著書・論文・学会発表等

内村悦三

- ・タケと竹を活かす. 全林協. (2005).
- ・タケ・ササ図鑑—種類・特徴・用途. 創森社. (2005).
- ・そだててあそぼう「竹の絵本」. 内村悦三編. 農文協. (2006).
- ・つくってあそぼう「竹の絵本」. 内村悦三・近藤幸男編. 農文協. (2006).

中田政司

- ・Adventitious shoot regeneration and micropropagation of the Japanese endangered *Hylotelephium sieboldii* (Sweet ex Hook.) H. Ohba and *H. sieboldii* var. *ettyuense* (Tomida) H. Ohba. *Plant Biotechnology* 22: 221-224. (2005). (共著)
- ・Analyses of anthocyanidins and anthocyanins in flower petals of *Lychnis senno* and its related species (Caryophyllaceae). *Bull. Facult. Agric. Niigata Univ.* 58: 35-38. (2005). (共著)
- ・A note on the karyotype of *Farfugium japonicum* (Asteraceae). *Journal of Phytogeography and Taxonomy* 53: 191-195. (2005). (共著)
- ・染色体標本作製法. 野外調査での試料調整法. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム—植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.18-19. (2006). (分担執筆)
- ・染色体情報の解析と利用. アナログ画像(写真)取得・解析法. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム—植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.157-159. (2006). (分担執筆)
- ・研究支援情報. 植物育成法 キク. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム—植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.225-226. (2006). (分担執筆)
- ・雪国の植物園—日本海側初の総合植物園の経験—. 日本植物学会 69回大会公開シンポジウム「雪と植物」(2005)
- ・中国産ベゴニア属の細胞学的研究. 第14回染色体コロキウム. (2005). (共同発表)

山下寿之

- ・富山県内のヒメザゼンソウが出現する群落 第10回植生学会. (共同発表).

神戸敏成

- ・Cryopreservation of immature seeds of *Bletilla striata* by vitrification. *Plant Cell Rep.* 23(8): 534-539. (2005). (共著).
- ・Adventitious shoot regeneration and micropropagation of the Japanese endangered

*Hylotelephium sieboldii* (Sweet ex Hook.) H. Ohba and *H. sieboldii* var. *ettyuense* (Tomida) H. Ohba (short communication) *Plant Biotechnology* 22: 221-224. (2005). (共著).

橋屋 誠

- ・北陸のきのこ図鑑. 橋本確文堂. (2005). (部分執筆).

兼本 正

- ・琉球列島産植物の保全と研究. 日本植物園協会第40回大会研究発表.

高橋一臣

- ・ササ属植物の葉の表皮構造. 日本植物学会第69回大会. (2005).

大原隆明

- ・跡見学園女子大学のサクラ構内桜ガイド. 跡見学園女子大学. 第3版. (2006). (共同執筆).

志内利明

- ・ツリガネニンジンの雌性両全異株性. 日本植物学会第69回大会.
- ・A note on the karyotype of *Farfugium japonicum* (Asteraceae). *Journal of Phytogeography and Taxonomy* 53: 191-195. (2005). (共著)
- ・Chalcones and other flavonoids from *Asarum sensu lato* (Aristolochiaceae). *Biochem. Syst. Ecol.* 33: 571-584. (2005). (共著)

## VI 友の会・ボランティアの活動

### 1. 事業

#### (1) 講演会・講習会

内容	開催日	参加者数
クレマチスの栽培講習と種苗交換会 講師：越野淳一(中央植物園友の会ボランティア)	6月12日(日)	30
植物栽培講習と種苗交換会 講師：宮川 敏(中央植物園友の会ボランティア)	7月17日(日)	30
植物栽培講習と種苗交換会 講師：宮川 敏(中央植物園友の会ボランティア)	10月23日(日)	30
友の会植物画講習会 講師：豊田路子(フェアリーリングの会)	10月22日(土)-23日(日)	50
話題の植物“ヤーコン”収穫祭と種苗交換会 講師：高柳謙治(中央植物園友の会ボランティア)	11月6日(日)	20
中央植物園客員研究員講義の聴講 吉田よし子(食用熱帯植物研究者)	11月24日(水)-25日(木)	30
佐竹元吉(お茶の水女子大学生生活環境研究センター教授)	12月1日(水)-2日(木)	30
福嶋 司(東京農工大学農学部教授)	12月15日(水)-16日(木)	30
クリスマスリース作り 講師：増山たか子(中央植物園友の会ボランティア)	12月11日(日)	30

#### (2) 植物観察会

催事名	開催場所	開催日	参加数
薬用植物園ツアー	富山県薬用植物指導センター他	5月15日(日)	20
野外観察会	富山市(旧大沢野町) 御前山周辺	10月16日(日)	7
東京ドーム世界ラン展ツアー	東京ドーム他	2月19日(日), 20(月)	25

#### (3) その他

内容	開催場所	開催日	参加数
第11回理事会	中央植物園	4月6日(水)	—
第2回ドリラスコンサート ※中央植物園との共催	中央植物園	9月10日(日)	243
友の会のつどい	中央植物園	3月12日(日)	50

### 2. 部会の活動

#### (1) 植物画部会(登録者数83名：平成18年3月31日現在)

例会(場所：中央植物園)

4月17日(日) 29名	8月21日(日) 38名	1月15日(日) 11名
5月15日(日) 24名	9月18日(日) 27名	2月19日(日) 25名
6月19日(日) 30名	11月20日(日) 32名	3月19日(日) 31名
7月17日(日) 30名	12月18日(日) 28名	

・友の会植物画講習会 中央植物園 10月22日(土)-23日(日)

## (2) きのご部会 (登録者数100名：平成18年3月31日現在)

開催日	場所	内容	参加数
16.6.18	中央植物園	顕微鏡観察入門講座	4
6.25	中央植物園	顕微鏡観察入門講座	6
7.31	高岡市古城公園	きのご観察会	18
9.11	上市町立山寺	きのご観察会	26
9.25	古洞の森	きのご観察会	17
10.2	大山町有峰	きのご観察会	18
11.6	頼成の森(兼きのご鍋会)	きのご観察会	29
18.1.28	中央植物園	スライド学習会	22

## (3) 植物誌部会 (登録者数29名：平成18年3月31日現在)

開催日	場所	内容	参加数
17.4.24	墓の木自然公園 (入善町)	定例調査会	11
5.22	婦中町自然公園 (富山市)	定例調査会	15
6.26	嘉例沢森林公園・鉾ヶ岳 (黒部市)	定例調査会	8
7.24	国立立山少年自然の家 (立山町)	定例調査会	11
8.28	富山県中央植物園	標本同定会	15
9.25	県民公園頼成の森 (砺波市)	定例調査会	10
10.23	県民公園頼成の森 (砺波市)	定例調査会	13
11.27	富山県中央植物園	標本同定会	12
12.25	富山市内	納会	9
18.1.22.	富山県中央植物園	標本同定会	11
2.26.	富山県中央植物園	標本同定会	13
3.26.	九殿浜 (氷見市)	定例調査会	12

## (4) ボランティア部会 (登録者数45名：平成18年3月31日現在)

活動内容	補助のべ回数	補助のべ人数
<b>案内所(インフォメーション)</b>		
案内所待機	61	71
見どころ作成	33	33
<b>教育普及事業の補助</b>		
植物園オリエンテーリング	7	48
日曜植物案内	12	24
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	2	10
夜間開園「夜の温室植物」	2	15
<b>調査研究事業の補助</b>		
園内開花調査(ボタン開花調査)	9	18
標本添付作業	101	126
<b>友の会活動の補助</b>		
会報の編集	4	4
<b>植物の栽培管理の補助</b>		
話題の植物エリア	30	50
クレマチス園	14	20

## 3. 会員数 (平成18年3月31日現在)

一般会員	665名
賛助会員	29名(30口)
特別会員	2名
計	696名

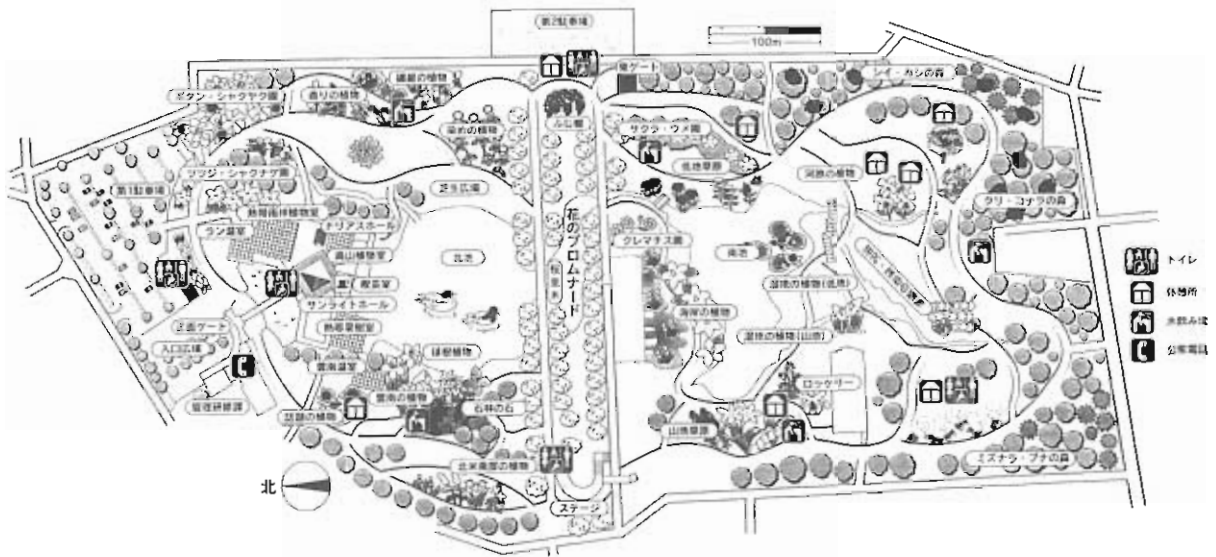
## VII 参考資料

### 1. 施設概要

施設	着工～完成	面積(m <sup>2</sup> )	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	1,139	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室(5棟)	第1期 4.8～5.1 第2期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	380台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ393	5棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室(5棟)	第1期 5.8～7.1 第2期 6.7～7.6 第3期 7.3～8.3 第4期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	
ドリアスホール	14.9～15.3	155	休憩室、図書閲覧



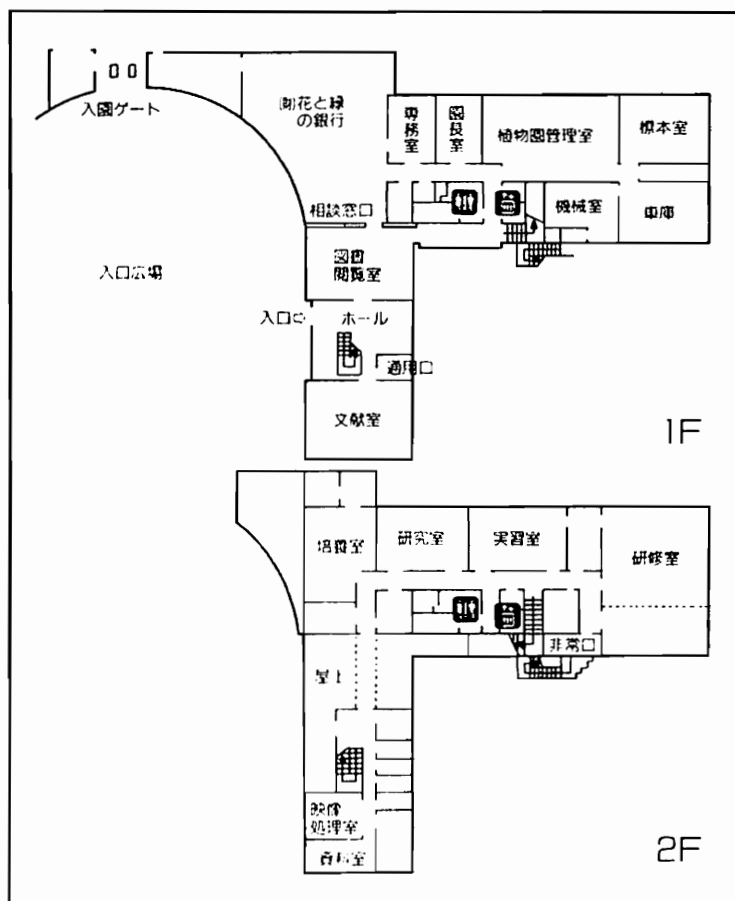
2. 施設平面図



植物園平面図



サンライツホール・温室平面図



管理研修棟平面図

3. 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10~11	H14	小計	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	*204	**40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
合計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

\*雲南温室、\*\*多目的小ホール(ドリアスホール)

4. 利用統計（※平成17年4月1日より高校生以下は入園料無料）

(1) 平成17年度月別入園者数（有料）

区分 (月)	個人	団体	友の会	特別観覧*		合計
				個人	団体	
4	5,289	297	300	—	—	5,886
5	5,058	360	282	—	—	5,700
6	2,378	998	215	—	—	3,591
7	1,005	236	125	291	83	1,740
8	1,285	180	104	311	17	1,897
9	1,250	295	167	—	—	1,712
10	1,442	615	204	—	—	2,261
11	932	392	128	—	—	1,452
12	249	44	71	—	—	364
1	621	3	138	—	—	762
2	1,028	64	167	—	—	1,259
3	7,415	161	472	—	—	8,048
合計	27,952	3,645	2,373	602	100	34,672

\*ゲッカビジン観賞（平成16.6.30～7.1）、夜間開園「夜の温室植物」（平成16.8.14～15）

(2) 平成17年度月別入園者数（無料）

区分 (月)	減免					無料合計	
	一般 大学 高校	小学生 中学生	引率	乳幼児	その他	大人	小人
4	19,164	441	2,260	3,005	113	19,718	5,265
5	277	824	1,136	1,375	379	1,480	2,511
6	192	451	632	719	69	712	1,351
7	74	194	293	441	136	404	734
8	43	101	556	359	136	280	915
9	127	208	470	799	112	447	1,269
10	222	206	497	750	190	618	1,247
11	40	106	357	309	54	200	666
12	17	21	74	110	27	65	184
1	26	44	145	186	12	82	331
2	45	66	119	257	104	215	376
3	245	272	401	697	578	1,095	1,098
合計	20,472	2,934	6,940	9,007	1,910	25,316	15,947

(3) 平成17年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	25,604	5,265	30,869
5	7,180	2,511	9,691
6	4,303	1,351	5,654
7	2,144	734	2,878
8	2,177	915	3,092
9	2,159	1,269	3,428
10	2,879	1,247	4,126
11	1,652	666	2,318
12	429	184	613
1	844	331	1,175
2	1,474	376	1,850
3	9,143	1,098	10,241
合計	59,988	15,947	75,935

## (4) 全面開園(平成8年)後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
16	31,204	400	24,961	13,867	56,165	14,267	70,432
17	34,672	0	25,316	15,947	59,988	15,947	75,935
累計	495,254	29,494	109,323	123,246	604,577	152,740	757,317

## (5) 平成17年度研修室等利用団体数(人数)

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	ドリアスホール	合計
	第1	第2	第1+第2			
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	—	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	—	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	—	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	—	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	—	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	—	48 (1,507)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	—	22 (568)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,103)	81 (4,412)
16	10 (206)	4 (76)	1 (70)	1 (15)	118 (5,094)	134 (5,461)
17	5 (76)	10 (126)	5 (271)	0	89 (3,825)	109 (4,298)

※ドリアスホールは平成15年3月に完成。

## (6) ホームページ開設後のアクセス件数(ホームページ開設:平成12年9月24日)

年度	アクセス件数
平成13年度	8,520
平成14年度	11,282
平成15年度	15,365
平成16年度	18,012
平成17年度	25,676

## 5. 例規(平成17年1月1日現在)

### ● 富山県植物公園条例(抜粋)

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号

改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号

平成9年3月26日 富山県条例第 3号

#### (目的)

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### (県の責務)

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

#### (設置)

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設(以下「植物展示施設」という)と連携を図るため、富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)を設置する。

#### (位置)

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

#### (事業)

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

(1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。

(2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。

(3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。

(4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。

(5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

#### (入園の拒否及び制限)

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

(1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。

(2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

#### (遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。

(2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。

(3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。

(4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

#### (専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

#### (使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、

1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生	1人1回	600円	480円
高等学校以下の生徒及び児童	につき	無料	—

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間 間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

## 備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

## ● 富山県植物公園条例施行規則（抜粋）

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

### （趣旨）

第1条 この規則は、富山県植物公園条例（平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

### （専用使用の承認申請）

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日（次条において「専用使用日」という。）の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書（様式第1号）を知事に提出しなければならない。

### （専用使用の変更等）

第3条 略

### （休園日）

第4条 富山県中央植物園（以下「中央植物園」という。）の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

- (1) 木曜日（その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日にあたる場合を除く。）
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

### （開園時間等）

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあつては午前9時から午後4時30分まで）とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで（1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあつては午後4時）までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

### （原状回復及び点検）

第6条 略

### （施設等の汚損又は損傷の届出）

第7条 略

### （細則）

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

## 6. 愛称とシンボルマーク

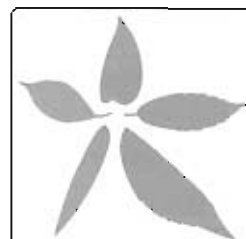
平成10年2月、公募によって決定。

愛称=ドリラス

「ドリラス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名 (Dryas) でもある。

シンボルマーク

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



## VIII 栽培記録

### 1. 17年度に初めて開花、結実した植物

オオユリワサビ（アブラナ科）

*Wasabia tenuis* (Miq.) Matum. var. *okinosisimensis* (Takenouchi) Kitam.

オオユリワサビは原記載地の福岡県で絶滅が確認され、環境省（2000）のレッドデータブックでは絶滅種とされていましたが、富山大学の鳴橋直弘教授らによって、富山県内での分布が報告されてからは日本海側を中心とする各地で見つかっています。富山県中央植物園へは2004年に5株導入し、屋外展示園の渓谷の植物エリアに植栽しました。そのうち小蔭の多い場所に植えた3株が定着し、2006年3月に初めて開花しました（展示園課 山下寿之）。



開花したオオユリワザビ

### 2. 植物園への植物導入における森林表土の利用とその有効性

植物園の自生地からの植物の導入は主に開発区域の植物を採集しています。しかし、複雑に根が絡まり、採集効率が悪いこと、導入後の定着まで不安定であることから、表土ごと持込み、土壌中の種子を発芽させる方法を試みました。2001年7月に旧利賀村の林道ふれあいの森線予定地の表土約5m<sup>2</sup>を圃場に敷き均し、2005年11月に発芽した植物の個体数調査を行いました。その結果、クマイチゴ12本、オオバクロモジ7本など合計で10種類32本の植物が得られました。これとは別に約4リットルの表土を選択して持ち帰り、育苗バットに広げて放置したところ、2005年6月にはキブシ118本、サワシバ18本など合計10種149個体の植物が得られ、鉢あげした後同年11月に屋外展示園にその一部を植栽しました。以上のことから表土のまきだしは、先駆的な本種導入には有効であることが示唆されました（展示園課 山下寿之）。



実験中の様子



**富山県中央植物園事業概要 第8号(平成17年度)**

---

平成18年8月31日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

印刷：いおざき印刷株式会社

---

